

# 学校訪問 11

## 天空の郷で今日も 笑顔いっぱい



### 平川小学校

平川小学校（備中町平川・木口泰子校長）は、全校11人の小規模校です。「笑顔いっぱい」の学校「地域の学校の学校」を目



旭川学園との交流

指し、さまざまな教育活動に取り組んでいます。その中から今回は、特に地域と結びつきのあ

る行事を紹介します。

夏休みには毎年、知的障害児施設「旭川学園」の子どもたちとの交流を行っています。ひらかわ憩いの家に同学園の子どもたちが宿泊し、球技やゲームなどをして交流します。昼食に、地域や保護者の皆さんが作ってくれるカレーライスも楽しみの一つです。

11月の学習発表会で披露する伝統芸能「みかぐら」は、子ども同士での教え合いを中心に4月から取り組んでいます。6年生の沼田遥さんは「見ている人が元気になるよう舞いたいです」と意欲を見せています。太鼓に合わせて真剣に舞う子どもたちの姿を、地域の皆さんも大



みかぐらの練習



昨年度の朝食づくり

変楽しみにしています。

また、家庭との連携の一つとして、生活リズムの向上に取り組めます。今年度は「バランスの取れた朝食作り」を目標にする予定です。

平川地域では、地域おこしとして、中世の山城「むらさき城」跡の整備が進んでいます。学校では地域の素晴らしい歴史遺産を通して、郷土を愛する子どもたちに育ってほしいと願い登山を計画。子どもたちも楽しみにしています。

天空の郷平川に、今日も子どもたちの笑顔があふれます。



## 春まきソバで地域を元気に

## 松原そばの会(松原町)



活動を開始したころは、ほとんどが手作業で苦労しましたが、毎年工夫を重ね、少しずつ機械化を進めていきました。

ゴールデンウィークの雲一つ無い晴天の中、松原町松岡陣山地区の広大な畑にトラクターの音が響きます。



昨年の花見会の様子

平成11年に地元農家など有志で「松原そばの会」を結成し、県内ではめずらしい春まきのソバを栽培しています。

今年の花見会は、5月4日。ソバの白い花が満開となり、見ごろを迎える6月13日(日)には、同所でソバの花見会を開き、昨年の収穫分で手打ちそばの実演・試食、石臼でのそばひき体験、地元産農作物の販売などを行う予定です。

「かつて盛んだった肉牛飼育の放牧地跡を地域おこしに利用できるものかと協議を重ね、標高が高く昼夜の寒暖差が大きい土地に合うソバの栽培を始めました。自分たちで種をまき、収穫したそばを打って食べる。真夏に新そばが食べられるのも楽しみです」と会長の山下孝志さん(56)。

「毎年、市内外からたくさんの人に来ていただき、にぎやかなんですよ。この時期に松原町のソバ畑に行けば、畑一面に咲く、かわいい花を見ながらおいしいそばが食べられると皆さんに楽しんでもらえたらうれしいですね」と藤田泉さん(57)は笑顔で話します。

「来年のソバを楽しむにしている人のためにも一生懸命がんばらないと」。草刈りなど日ごろの管理にも力が入ります。

## 栄光をたたえます

文化やスポーツ活動の全国大会出場、それに準じる成績を収めた人・団体を紹介します。

### ◆藤野彩夏さん

吉備国際大学社会学部3年



第21回世界エアロビクス選手権大会(4月17日〜18日・東京都)

に出場。「イタリアの選手など強豪は、演技の迫力が違っていった。来年も世界大会に出場できるように頑張りたい」

## 「栄光をたたえます」に情報をお寄せください

市内に在住、または市内で活動し、右記に該当する人・団体の情報があればお知らせください。

問い合わせ・連絡先  
企画課公聴広報係  
(☎0210)